

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08154971 A**

(43) Date of publication of application: **18 . 06 . 96**

(51) Int. Cl

A61F 13/15
A61F 5/44

(21) Application number: **06299938**

(22) Date of filing: **02 . 12 . 94**

(71) Applicant: **UNI CHARM CORP**

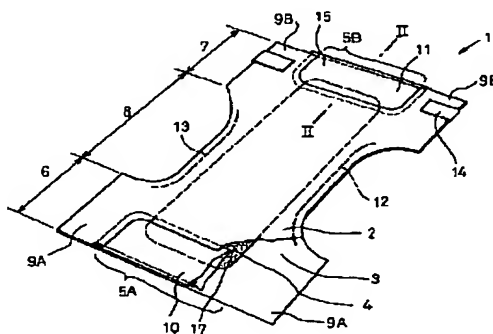
(72) Inventor: **INOUE YASUSHI**
MIYAMOTO YUKI

(54) **DISPOSABLE DIAPER**

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent the bleeding of body fluids at the body periphery end edge part of a disposable diaper.

CONSTITUTION: The central regions 5A, 5B of the body periphery end parts of either one of the front and back bodies 6, 7 of a disposable diaper 1 are constituted of the rear surface sheet 3 extending from the end edge of a water absorbable core 4 and the air permeable waterproof sheet 15 bonded to the upper surface thereof. The sheet 15 is bonded to the rear surface sheet 3 from the end edge part to a crotch part 8 to be folded back along the fold line 17 near to the crotch part 8 and an elastic member is bonded to the folded-back sheet under tension in the body periphery direction of the free end part thereof.



COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-154971

(43) 公開日 平成8年(1996)6月18日

(51) Int.Cl.⁹

A 6 1 F 13/15

5/44

識別記号

庁内整理番号

H 7108-4C

F I

技術表示箇所

A 4 1 B 13/ 02

K

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平6-299938

(22) 出願日

平成6年(1994)12月2日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 井上 康司

香川県観音寺市観音寺町甲447-1

(72) 発明者 宮本 由紀

愛媛県川之江市妻島町字徳永2578

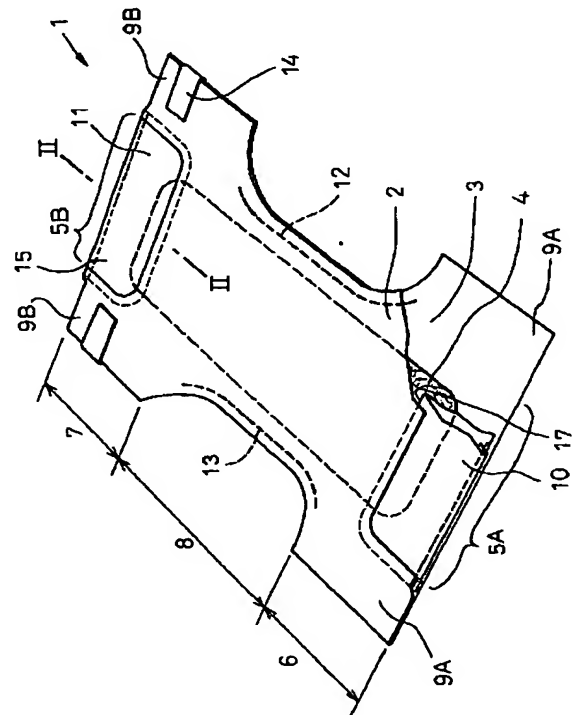
(74) 代理人 弁理士 白浜 吉治

(54) 【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【目的】 使い捨ておむつの胴周り端縁における体液の滲出を防止する。

【構成】 使い捨ておむつ1の前後身頃6、7のいずれかの胴周り端部中央域5A、5Bを吸水性コア4の端縁から延出する裏面シート3と、その上面に接合した通気防水性シート15とで構成する。シート15は、裏面シート3にその端縁部から股下部8に向けて接合して股下部8寄りの折曲線17で折り返し、折り返したシート15の自由端部20の胴周り方向に弾性部材21を伸長下に貼着する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】透水性表面シートと不透水性裏面シートとの間に吸水性コアが介在し、前記コアの前後両端縁から延出する少なくとも前記裏面シートが前後身頃各々の胴周り端部を構成する使い捨ておむつであって、少なくともいずれか一方の前記胴周り端部の幅方向中央域において、通気防水性シート的一端部を前記裏面シート上面にその端縁から股下部方向へ接合するとともに、前記一端部の対向端部を前記裏面シート端縁方向へ折り返し、その対向端部には前記おむつの幅方向に延びる弾性部材を伸長下に貼着しかつ前記対向端部の左右両側を実質的に前記裏面シート上面に固定して伸縮性をもたせ、前記表面シートはその端縁を前記裏面シートの端縁よりもおむつ内側に位置せしめ、前記通気防水性シートにその折り返し部分の近傍で接合してあることを特徴とする前記おむつ。

【請求項 2】前記通気防水性シートは前記対向端部を折り返し部分の近傍で前記一端部に接合するとともに、前記弾性部材を貼着した部分とその近傍を前記股下部方向へさらに折り返し、それら折り返し部分の左右両側を実質的に前記裏面シート上面に固定して、前記股下部方向に向かって開口するポケットを形成した請求項 1 記載のおむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、使い捨ておむつの胴周り開口部からの排泄物の漏れを防止するため、その開口部近傍の吸収体を不透水性シートで被覆したり、その開口部に伸縮部材を取付けたりする技術は周知である。また、実開平 3-24175 号公報には、使い捨ておむつの背側胴周りにおいて、通気防水性シートの内端と左右両側端とを透水性表面シートの上面に接合して前記漏れを防止する技術が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記公知技術のおむつでは、表面シートの上面を背側胴周りに向かって流れる排泄物を防水性シートで塞ぎ止めることができる。しかし、防水性シートは表面シートの上面に接合してあるから、その表面シートが親水性の不織布でできている場合には、表面シートの内部を胴周りに向かって拡散する体液を止めることができない。その結果、体液が胴周り端縁から滲出するという問題を生じることがある。

【0004】そこでこの発明は、使い捨ておむつの胴周り端縁部において、通気防水性シートを不透水性裏面シートの内面に接合することによって前記問題を解決することを課題にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明が前記課題を解決するために手段とするところは、以下のとおりである。

【0006】この発明においては、透水性表面シートと不透水性裏面シートとの間に吸水性コアが介在し、前記コアの前後両端縁から延出する少なくとも前記裏面シートが前後身頃各々の胴周り端部を構成する使い捨ておむつを前提にしている。

【0007】かかる前提において、前記胴周り端部の少なくともいずれか一方の前記胴周り端部の幅方向中央域において、通気防水性シート的一端部を前記裏面シート上面にその端縁から股下部方向へ接合するとともに、前記一端部の対向端部を前記裏面シート端縁方向へ折り返し、その対向端部には前記おむつの幅方向に延びる弾性部材を伸長下に貼着しかつ前記対向端部の左右両側を実質的に前記裏面シート上面に固定して伸縮性をもたせ、前記表面シートはその端縁を前記裏面シートの端縁よりもおむつ内側に位置せしめ、前記通気防水性シートにその折り返し部分の近傍で接合してあることがこの発明の特徴である。

【0008】かかる発明の実施態様の一つにおいては、通気防水性シートの前記対向端部を折り返し部分の近傍で前記一端部に接合するとともに、前記弾性部材を貼着した部分とその近傍を前記股下部方向へさらに折り返し、それら折り返し部分の左右両側を実質的に前記裏面シート上面に固定して、前記股下部方向に向かって開口するポケットを形成する。

【0009】

【作用】このように構成した使い捨ておむつでは、胴周り端縁部の中央域を不透水性裏面シートと通気防水性シートとでつくり、透水性表面シートはその端縁が裏面シートの端縁よりも内側に位置するようにして、それを通気防水性シートに接合したから、表面シートは胴周り端縁にのぞくことがなく、表面シートの中を拡散する体液をその防水シートで止めて、胴周り端縁からの体液の滲出を防ぐことができる。

【0010】

【実施例】この発明に係る使い捨ておむつの詳細を添付の図面を参照して説明すると、以下のとおりである。

【0011】図 1、2 は、使い捨ておむつ 1 の部分破断斜視図と、その I I-I I 線断面図である。おむつ 1 は、透水性表面シート 2 と、不透水性裏面シート 3 と、それら両シート 2、3 間に介在する吸水性コア 4 とからなり、その長手方向は前身頃 6 と、後身頃 7 と、それら両身頃 6、7 間に介在する股下部 8 とからなる。前後身頃 6、7 の左右両側には、表裏面シート 2、3 を接合してなる翼部 9 A、9 B があり、前後身頃 6、7 のいずれか一方の端部中央域 5 A、5 B には胴周り方向に延びる弾性伸縮部 10、11 がある。股下部 8 には脚周り方向に延びる弾性伸縮部材 12、13 が表裏面シート 2、3

間にあって、そのいずれかに伸長状態で接合してある。表裏面シート2, 3がコア4の周縁から延出して互いに重なり合う部分は、水密に接合してある。後身頃7の左右両側には慣用のテープファスナ14が取付けてある。

【0012】弾性伸縮部10と11とは構造が同じであって、例えば該部11の詳細は図2のとおりである。伸縮部11は、裏面シート3と、その上面にホットメルト接着剤16を介して水密に接合する通気防水性シート15とで構成されており、その通気防水性シート15は一端部15Aが裏面シート3上面の端縁部3Aに始まって股下部8方向へ延び、コア4の上面に簡単にずれ動くことがないように接合してある。一端部15Aの対向端部15Bは、折曲線17で折り返され、その折曲線17近傍において互いに向かい合う一端部15Aと対向端部15Bとが接着剤16で接合してある。対向端部15Bの残余の部分は自由端部20であって、そこには弾性部材21をおむつ1の幅方向に伸長下に貼着し、自由端部20の幅狭い折り返し部分22で被覆してある。表面シート2は、その端縁2Aが裏面シート3の端縁3Aよりもおむつ内側にあり、コア4の上で通気防水性シート15の折り返し部分に上から接合してある。なお、図1に示すように表面シート2は、伸縮部11において凹型に切り欠かれ、その切り欠かれた左右両側に翼部9A, 9Bがある。通気防水性シート15の左右は各翼部9A, 9Bの近傍にまで延びてその先端部が表裏面シート2, 3に挟まれ、かつ、そのいずれかに接合し、さらに要すればシート15の折り返し部分を互いに接合することにより、シート15が実質的に裏面シート3に固定してある。

【0013】おむつ1において、透水性表面シート2には、公知ないし周知の疎水性または親水性の不織布や必要に応じて親水化処を施した開孔プラスチックフィルムを使用し、不透水性裏面シート3には、プラスチックフィルム、好ましくは通気不透水性のプラスチックフィルムを使用する。吸水性コア4には粉碎パルプや粉碎パルプと高吸水性ポリマーとの混合物を使用する。通気防水性シート15には、熱可塑性合成樹脂を原料とし、JIS-S-1079Aに基づく通気度が50cc/cm²/sec以上であり、かつ耐水度が40mm/H₂O以上の不織布や通気性フィルムを使用する。かかるシート15は、周知慣用の素材を使用した表面シート2よりも一般に水の透過性、拡散性が低い。おむつ1における各部材の接合には、ホットメルト接着剤等を使用する接着技術の他に、熱融着の技術を利用することができる。

【0014】このように構成したおむつ1を着用すると、通気防水性シート15の自由端部20が胴周りに密着し、その自由端部20を外から裏面シート3が覆っている。裏面シート3とそれに接合したシート15の一端部15Aとの間には、胴周り方向に弾性部材21より伸縮力の弱い弾性部材を貼着し、裏面シート3に弱い伸縮

性をもたせ、肌に密着した自由端部20との間に大きな間隙が生じないようにすることもできる。排泄があると、体液は表面シート2やコア4の中で拡散するが、伸縮部10, 11では通気防水性シート15の存在によってその拡散が止まり、胴周り端縁から滲出することがない。

【0015】図3は、おむつ1の実施態様の一例を示す図2と同様の図面である。このおむつ1では、表面シート2がコア4の端縁4Aから僅かに延出し、その延出した部分が通気防水性シート15の下にあって裏面シート3とシート15とに接着剤16で接合している。通気防水性シート15は、コアの端縁4Aの手前にある折曲線17で折り返し、それと向かい合うシート15の一端部15Aの上面に接合し、自由端部20は折曲線17と平行な折曲線18で股下部8方向へ折り返してある。折曲線17, 18で折り返した通気防水性シート15の左右両側は重なり合うシート15どうしを互いに接合するとともに、表面シート2上面に接合してある。表裏面シート2, 3は互いに重なり合う部分で接合しているから、通気防水性シート15は実質的に裏面シート3に対し固定された状態にある。このおむつ1では、弾性部材21が収縮すると、通気防水性シート15の自由端部20が図示したようにおむつ1上面から起立して股下部8へ向かって開口するポケット25を形成する。したがって、このおむつ1は、着用者が横臥していて排泄物が股下部18から胴周り端部へと流れた場合でも、その流れを効果的に止めて漏れを未然に防ぐことができる。

【0016】

【発明の効果】この発明に係るおむつでは、前後身頃の少なくともいずれか一方の胴周り端部中央域に弾性伸縮部を設け、該部において裏面シート上面に通気防水性シートを接合するとともに、表面シートの端縁を裏面シートの端縁より内側に設けて通気防水性シートに接合したから、端部中央域における端縁からの体液の滲出を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】おむつの部分破断斜視図。

【図2】図1のI-I線断面図。

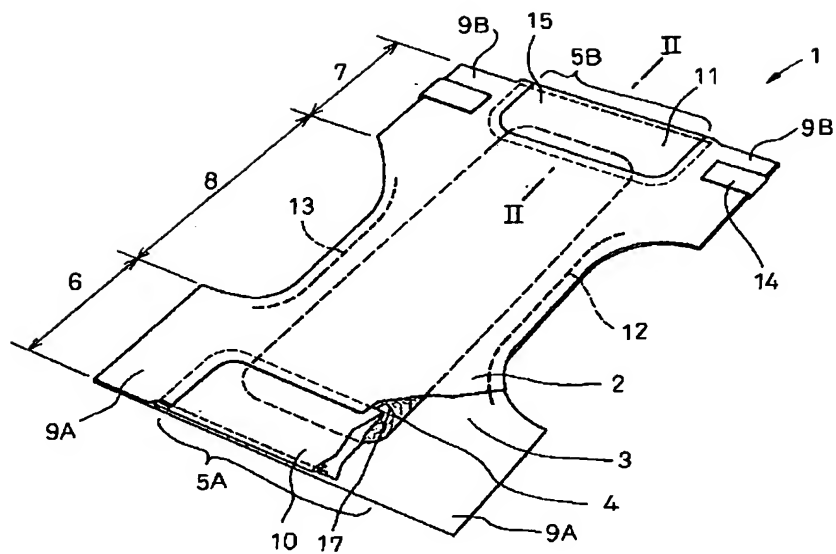
【図3】実施態様の一例を示す図2と同様の断面図。

【図4】

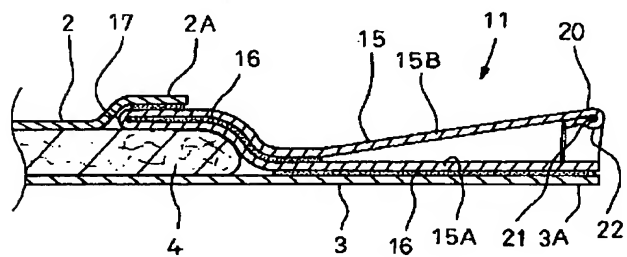
【符号の説明】

- 1 おむつ
- 2 表面シート
- 3 裏面シート
- 4 コア
- 8 股下部
- 10, 11 弾性伸縮部
- 15 通気防水性シート
- 21 弾性部材

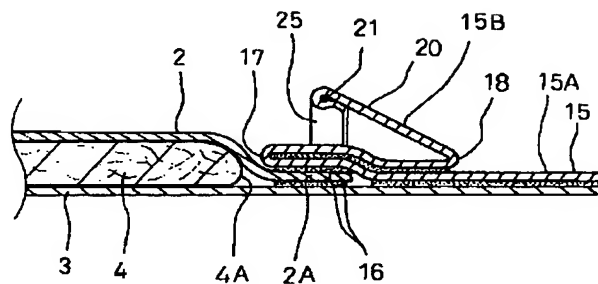
【図1】



【図2】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成7年3月16日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図4

【補正方法】削除